



ともに生きる

◆地域学校協働活動を進めましょう◆

2026年5月7日 第21号

岩中寄合2026①

=== 記録 ===

2026年5月1日（金）

8名参加（3年生3名，2年生4名，1年生1名）

★今年は、数回開催しましょう★



※焦点をぼかしています

ー自己紹介ー

- ・特技は、習字、英語、バレーボールなど

1 生徒会・委員会としてやってみたい活動、自慢

- ・球技大会や全校レク、保護者と一緒にお祭りなど
- ・学年で関われるような新しい行事
- ・こういう話し合う場を増やしたり、対象の参加者を増やしたい
- ・テレビ番組の「かくれんぼ」などのイベントの開催
- ・放送委員会で、「私は誰でしょう」インタビュー調査
- ・体育大会では、先生が活躍する種目をやりたい
- ・全校花火大会
- ・トワイライトのような勉強会をやりたい

2 岩倉市民としてやってみたいこと

- ・桜だけといわず「岩倉といえば」というアピールをSNSなどで
- ・小さいこと小学生、中学生と一緒に遊ぶ会
- ・「ちっちゃい菜」を使ったお店を【鍋ふえす】に出店
- ・SNSなどを使ってちっちゃい菜の人気を高めたい、クックパッド
- ・岩中生が開発した商品（キムチ）
- ・水辺祭りなど自然を楽しめるお祭りをやってみたい（桜の植樹なども）
- ・IVCでもやっていた岩中主催のイベントをやりたい。
- ・市内の小学生やお年寄りと楽しめて交流できるイベント
- ・「桜保存会」に中学生が参加したり、宣伝したい
- ・防災訓練や避難訓練と、地域の人と一緒にやってみたい



※ 区開催の盆踊りへの協力依頼

- ・やぐらを組み立てるのに、高齢の役員さんが困っている。酷暑で体調を崩したり
- ・若い人の力を生かしてお手伝いしてほしいという声がある
- ・「参加」から「参画」へ進めてほしい
- ・お祭りは、ずっと続けていきたいけど、役員の高齢化で継続できなくなることが心配
- ・若い人の意見や知恵を

● 感想 ●

- ・初めての体験で、みんなで話せてよかった
- ・生徒会として、地域にも目を向けることができた
- ・祭りの課題などを聞いて、自分でもできることがあると思った。周りに伝える。
- ・未来寄合に参加したことがある。中学生は別の視点で話せる。
- ・意見だけでなく、実践へとつなげていきたい。